

報道関係者各位

2022年1月5日

代表取締役社長執行役員 吉田 多孝の従業員への年頭あいさつ要旨

あけましておめでとうございます。

ヤナセ従業員に向けた、代表取締役社長執行役員 吉田 多孝の年頭あいさつ要旨をご案内申し上げます。

ヤナセグループ社員の皆さん、あけましておめでとうございます。

ヤナセグループ社員の皆さん、ならびにご家族の皆さんにおかれましては、良い新年を迎えられたことと思います。本年がヤナセグループおよびグループ関係者の皆さまにとって、素晴らしい1年になることを祈念しています。

年頭に当たり、2022年の干支「壬寅（みずのえ・とら）」について、私なりに調べてみました。壬寅には「冬が厳しいほど、春の芽吹きは生命力にあふれ、華々しく生まれる」という意味があるそうです。

これを私たちの現状に当てはめてみると、ここ数年は新型コロナウイルス対策として公私ともに行動に制限がかかり、精神的にも厳しい時期を過ごさなければなりません。さらに仕事の面では、昨年の夏頃から世界的な半導体不足の影響で車の供給が一段と不透明になり、お客さまにスムーズに車をお届けできなくなるなど、私たち自動車ディーラーにとって過去に例がない厳しい状況に陥っています。

2022年はそういった制限が徐々になくなり「新たに飛躍していく年」になるよう、そして「さらに広がり、力強く躍動する年」にできるよう、皆さんと共にがんばっていきたくと思います。

また4月には、私たちヤナセグループにとって中期経営計画「Gear up for the Next」の仕上げとなる3年目がスタートします。この中期経営計画では「攻め」と「守り」の両面での強化を追求しています。「攻め」では販売・サービスでの高効率化による収益力の強化を目指し、「守り」では低重心経営として業務プロセスの改善に注力していますが、皆さんの努力のおかげでヤナセグループの収益力は強化され、成長しています。最終年となる3年目も着実に計画を遂行し、「Gear up for the Next」を仕上げていきましょう。

厳しい冬を乗り越えて、新しく華々しく躍動していく。才能や運気が芽吹き、新しい成長の一步を踏み出す。私たちヤナセグループにとっても、そのような年にしていきたいと考えています。そのためにもグループ関係者の皆さんには1年を通じて、心身の健康を大切に、日々の生活、日々の仕事に躍動していただきたいと思ひます。